



株式会社ニレコ(6863)

2015年3月期

決算説明会資料

2015年6月5日

本資料における業績予想及び将来の予測等に関する記述は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。従いまして、実際の業績は様々な要因によりこれらの業績予想とは異なることがありますことをご承知おきください。

2015年3月期
(2014/4 - 2015/3)
決算実績について

- 売上高：6,140百万円（前期比△11.3%）

ウェブ事業、検査機事業が減収
特に検査機事業の選果装置の減収額が減収全体の半分強を占める

- 営業損失：5百万円（前期は営業利益291百万円）

プロセス事業が増益となったものの、ウェブ事業の減益及び検査機事業の赤字計上により全社で営業損失に

単位：百万円

	14/3	15/3		増減	
	実績	計画	実績	前期比	計画比
受注高	6,737	6,800	6,216	-520 (-7.7)	-583 (-8.6)
売上高	6,920	6,700	6,140	-780 (-11.3)	-559 (-8.4)
営業利益	291	220	-5	-297	-225
営業利益率(%)	4.2	3.3	—	(—)	(—)
経常利益	361	270	66	-295	-203
経常利益率(%)	5.2	4.0	1.1	(-81.6)	(-75.3)
当期純利益	373	160	9	-364	-150
当期純利益率(%)	5.4	2.4	0.2	(-97.5)	(-94.2)
1株当たり当期 純利益(円)	50.40	22.18	1.28	-49.12 (-97.5)	-20.90 (-94.2)

(カッコ内は伸び率)

セグメント別実績



単位：百万円

		14/3	15/3		増減	
		実績	計画	実績	前期比	計画比
プロセス事業	受注高	2,344	2,650	2,378	34	-271
	売上高	2,308	2,600	2,266	-41	-333
	セグメント利益	242	350	307	64	-42
	セグメント利益率(%)	10.5	13.5	13.6		
ウェブ事業	受注高	3,019	2,700	2,331	-688	-368
	売上高	2,979	2,700	2,656	-323	-43
	セグメント利益	352	220	197	-154	-22
	セグメント利益率(%)	11.8	8.1	7.5		
検査機事業	受注高	1,334	1,450	1,475	141	25
	売上高	1,597	1,400	1,183	-413	-216
	セグメント利益	214	170	-17	-232	-187
	セグメント利益率(%)	13.4	12.1	—		

資産・負債・純資産の状況

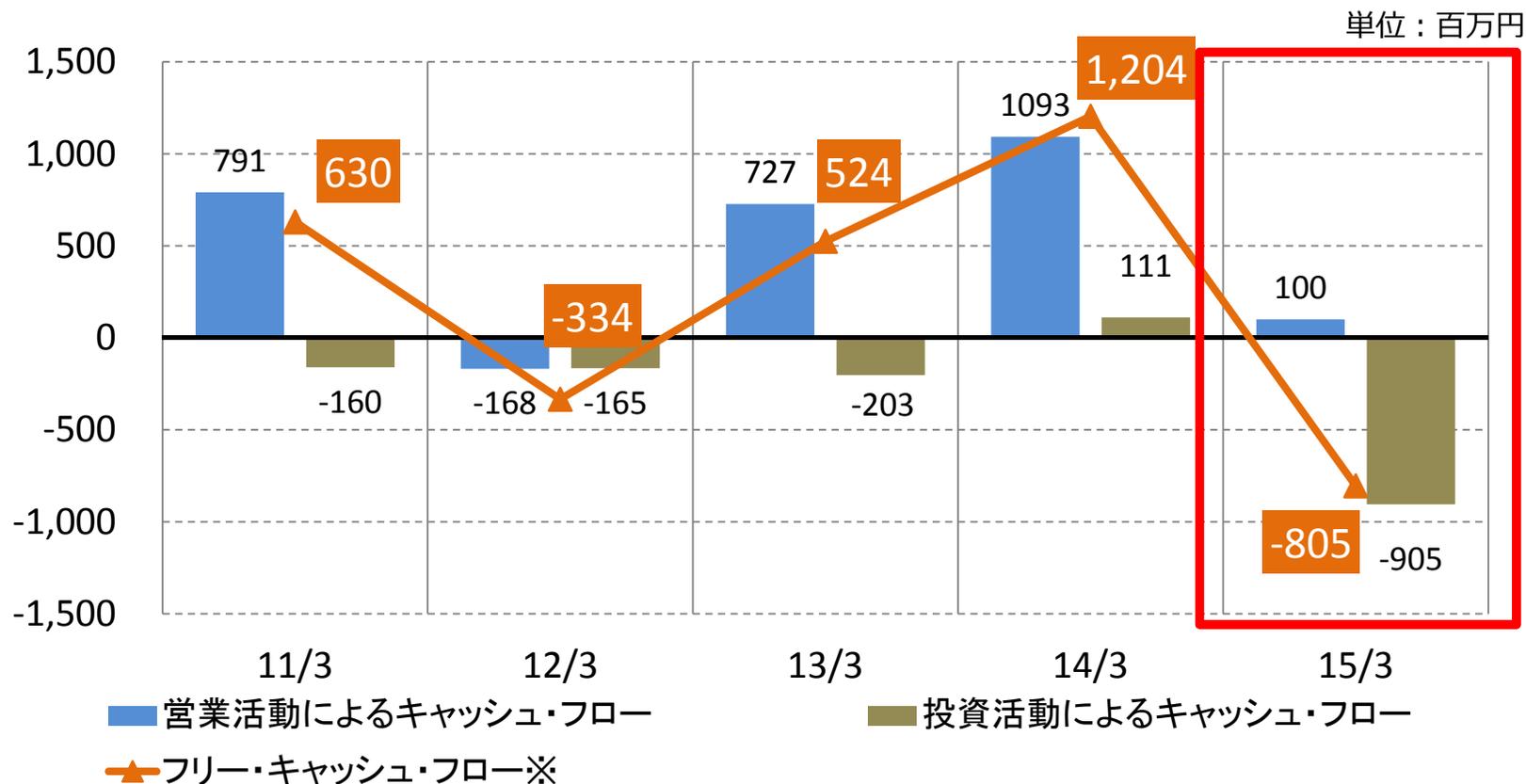


単位：百万円

	14/3		15/3		増減額	備考
	金額	構成比	金額	構成比		
現金預金	4,842	38.5	4,230	32.3	-611	自己株式の取得、新社屋建設中間金支払などによる減少
売上債権	2,583	20.5	2,719	20.8	136	
有価証券	51	0.4	31	0.2	-19	
棚卸資産	1,890	15.0	1,877	14.3	-12	
その他流動資産	385	3.1	375	2.9	-9	
流動資産	9,752	77.5	9,235	70.5	-517	
有形固定資産	1,203	9.5	2,258	17.2	1,055	新社屋建設による建設仮勘定の増加
無形固定資産	123	1.0	118	0.9	-4	
投資その他資産	1,505	12.0	1,496	11.4	-9	
固定資産	2,832	22.5	3,873	29.5	1,040	
資産合計	12,584	100.0	13,108	100.0	523	
買入債務	267	2.1	316	2.4	48	
その他流動負債	731	5.8	886	6.8	155	
流動負債	999	7.9	1,203	9.2	204	
固定負債	530	4.2	704	5.4	174	
負債合計	1,529	12.1	1,908	14.6	378	新社屋建設に伴う資金調達として借入金の増加
純資産合計	11,055	87.9	11,199	85.4	144	
負債・純資産合計	12,584	100.0	13,108	100.0	523	

- ▶ 主に新社屋建設に伴い、固定資産が増加した一方で資金の一部を借入金により調達したことから負債が増加。自己資本比率は84.6%（前期末比△2.5ポイント）

キャッシュ・フローの状況



- 営業活動によるキャッシュ・フローが税金等調整前四半期純利益や減価償却費などにより100百万円、投資活動によるキャッシュ・フローが新社屋建て替えに伴う固定資産の取得による支出などにより△905百万円となった。
 フリー・キャッシュ・フローは△805百万円

※フリー・キャッシュ・フロー = 営業活動によるキャッシュ・フロー + 投資活動によるキャッシュ・フロー

2016年3月期
(2015/4 - 2016/3)
通期見通しについて

➤ 売上高：7,400百万円（前期比+20.5%）

全セグメントで2桁増収を見込む。特に検査機事業は大幅な回復を想定

➤ 営業利益：430百万円（前年同期は営業損失5百万円）

全セグメントで増益を見込む。特に検査機事業は赤字から黒字へとV字回復

単位：百万円

	15/3 実績	16/3 計画	増減額	増減率
売上高	6,140	7,400	1,259	20.5
営業利益	-5	430	435	—
営業利益率(%)	—	5.8		
経常利益	66	460	393	590.5
経常利益率(%)	1.1	6.2		
当期純利益	9	300	290	—
当期純利益率(%)	0.2	4.1		
1株当たり当期 純利益(円)	1.28	41.63	40.35	—

セグメント別今期見通し



単位：百万円

		15/3	16/3		
		実績	計画	増減額	増減率
プロセス事業	売上高	2,266	2,600	333	14.7
	セグメント利益	307	450	142	46.5
	セグメント利益率(%)	13.6	17.3		
ウェブ事業	売上高	2,656	3,000	343	12.9
	セグメント利益	197	270	72	36.4
	セグメント利益率(%)	7.5	9.0		
検査機事業	売上高	1,183	1,800	616	52.1
	セグメント利益	-17	210	227	—
	セグメント利益率(%)	—	11.7		

➤ 国内：引き続き提案営業による潜在ニーズの発掘に注力

- 新開発のレベル計、幅計、形状計など、品質・生産効率向上に貢献する製品を積極提案
- X線厚み計も新たに加え、計測装置のラインナップを拡充
- 営業部門とサービス部門との緊密な連携により顧客とのコミュニケーション機会を増加

➤ 海外：国内での実績に基づくノウハウを海外へ展開

- 電磁波炉内CPCを中心とした営業展開により周辺エリアへの波及効果を狙う
- 東南アジア3極体制（中国・台湾代理店、韓国子会社） + 北米代理店

➤ 価格・性能ともに差別化した製品の投入

- 機能向上した印刷品質検査装置の新製品を投入
- 耳端位置制御装置、見当合わせ制御装置のハイエンドとミドルレンジに対応した各戦略製品を投入

➤ 食品包装資材分野の開拓

- 安全志向の高まり・商品の差別化に食品包装資材の重要性が増大。重点分野として引き続き営業・開発に注力

➤ 無地検査装置：ラインナップの拡充による市場展開

- Mujiken+に加えて廉価版のラインナップによりフィルム、銅箔、包材市場へ展開
- 2次電池電極シート検査装置の新型機を投入

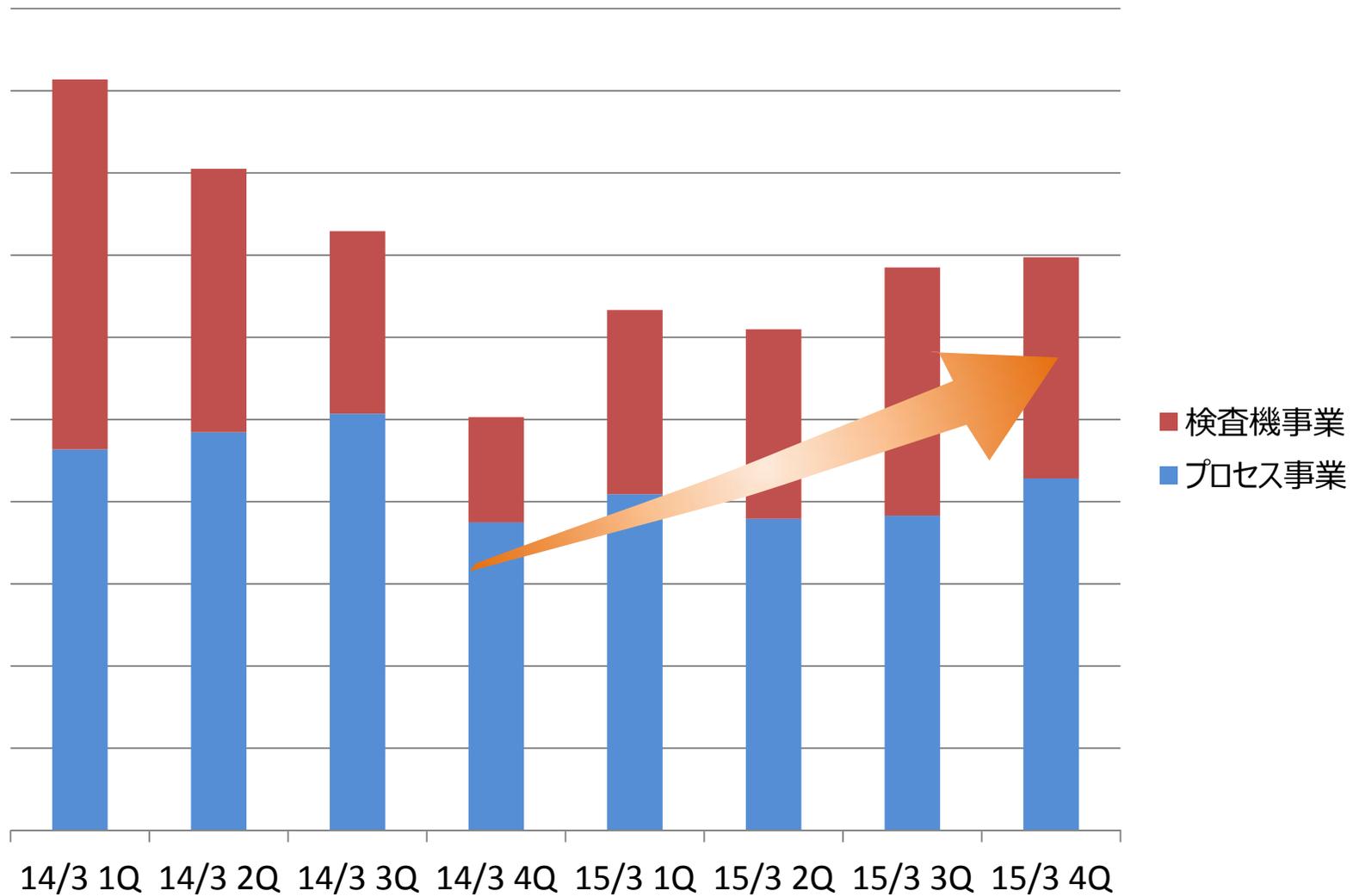
➤ 選果装置：国内受注の着実な積み上げ

- 今年に入り引き合いが具体化。実績を背景に着実な受注の獲得
- 農業の高齢化対策として省力化選果装置の開発

➤ 新製品：選魚装置、製袋検査装置の実績づくり

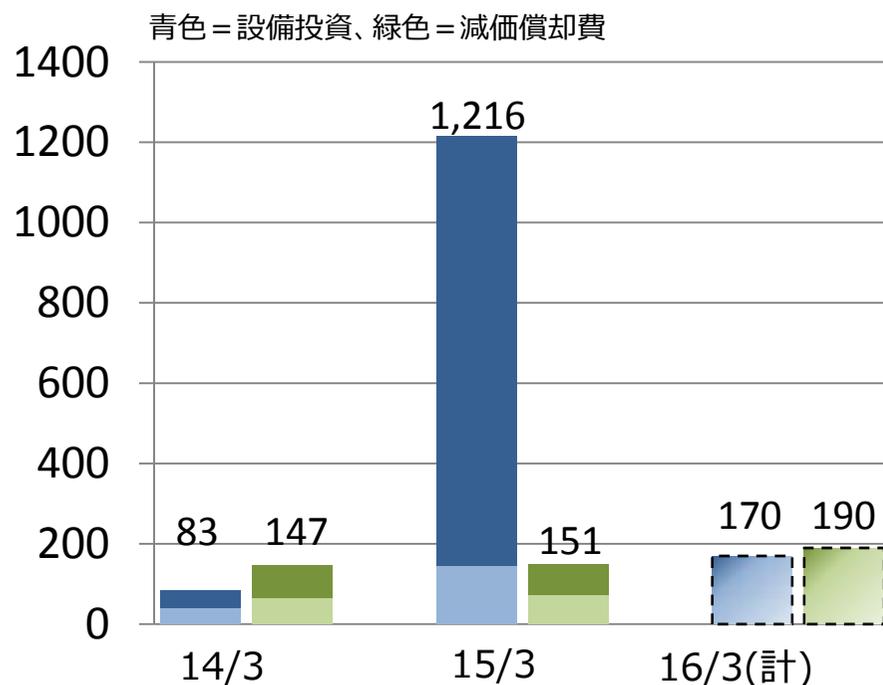
- 選魚装置：魚種選別装置や魚脂分検査装置
- 製袋検査装置：包材の内部異物検査装置や外観欠陥検査装置

プロセス事業及び検査機事業の受注残高は一時の低迷を脱し、伸びに転じた

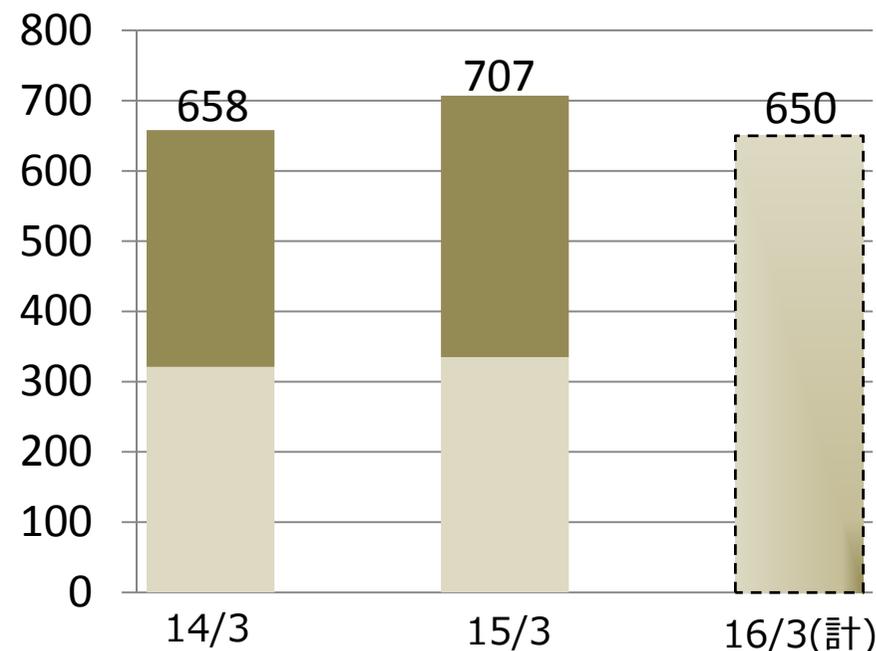


単位：百万円

設備投資、減価償却費

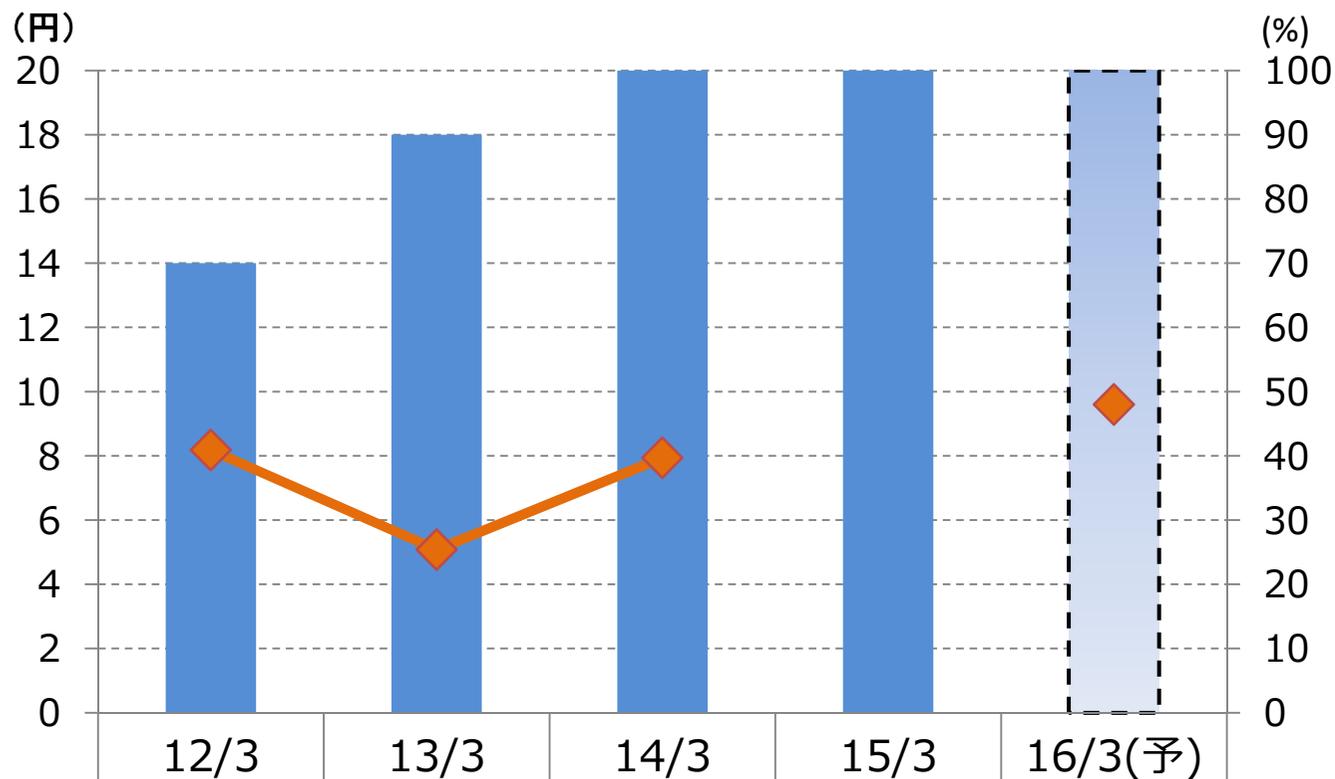


研究開発費



グラフは上から下期、上期

- 15/3期の設備投資の増加は新社屋建設によるもの。16/3期はその分の減価償却費として約40百万円の負担増



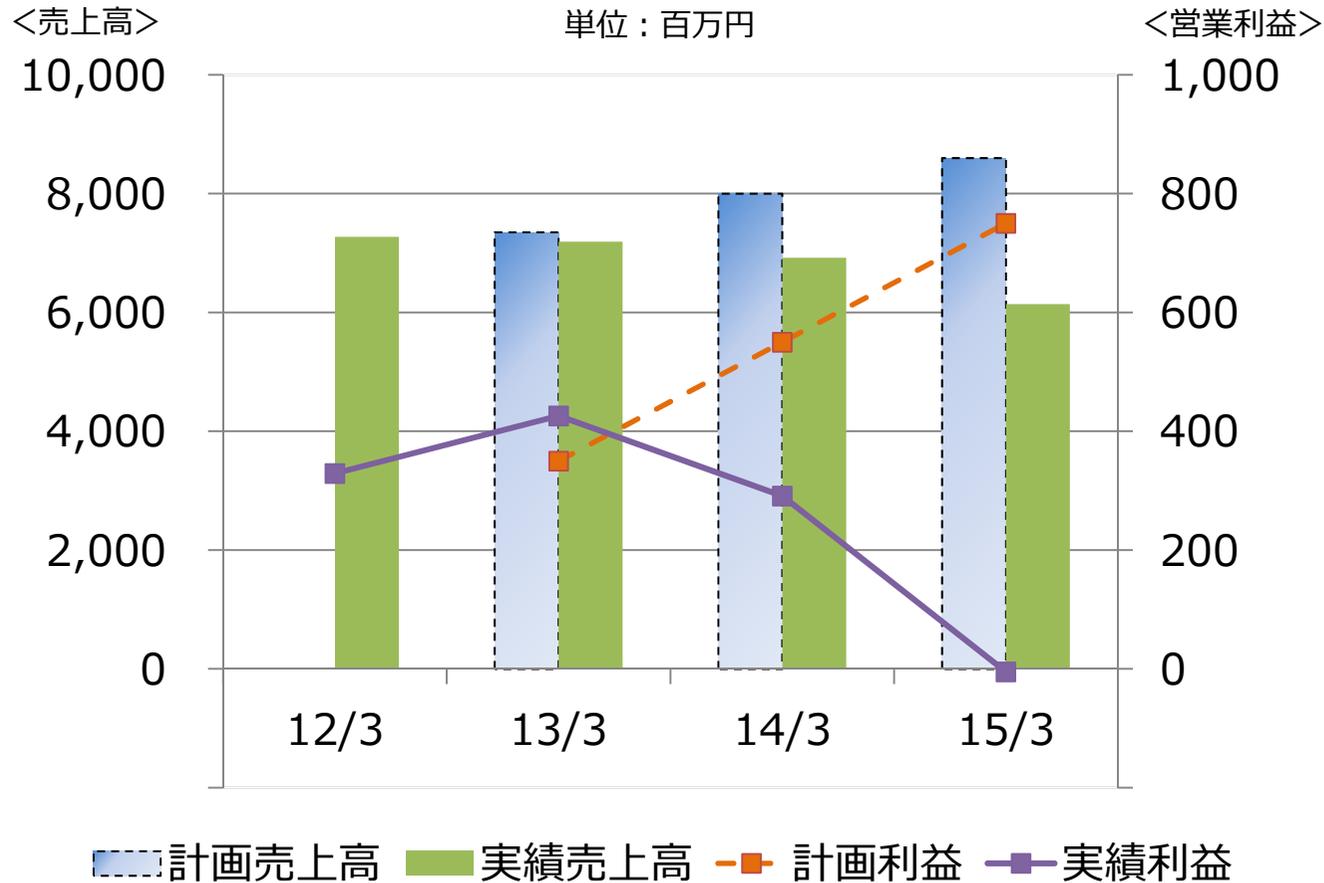
■ 配当金(円)	14	18	20	20	20
◆ 配当性向(%)※	40.9	25.4	39.7	—	48.0

- 当期は厳しい結果となったものの、安定配当の継続を最優先し、1株当たり10円とし、中間配当金と合わせて20円を予定
- 上期に自己株式買付(282,300株)を実施

※配当性向は参考値として連結ベースを表示しております。

新中期 3 カ年計画について

前3カ年計画と実績



【前3カ年計画基本方針】

- 検査機事業を成長エンジンと位置付ける



【実績】

- 成長エンジンと位置付けていた無地検査装置及び選果装置が伸び悩み
- ウェブ事業主力製品の落ち込み

市場環境の変化

- ✓ 国内市場の停滞と競争の激化
- ✓ 海外(特に東南アジア)景気の鈍化

当社の課題

- ✓ 海外市場開拓の推進不足
- ✓ 市場変化への対応不足
- ✓ 一部製品開発の遅れ

課題を克服して成長軌道に乗せる

【基本理念】

「技術と信頼」

コア技術を活かした製品ときめ細かいサービスの提供により、ユーザーから厚い信頼を獲得し、よきパートナーとして共に成長する

【めざす姿】

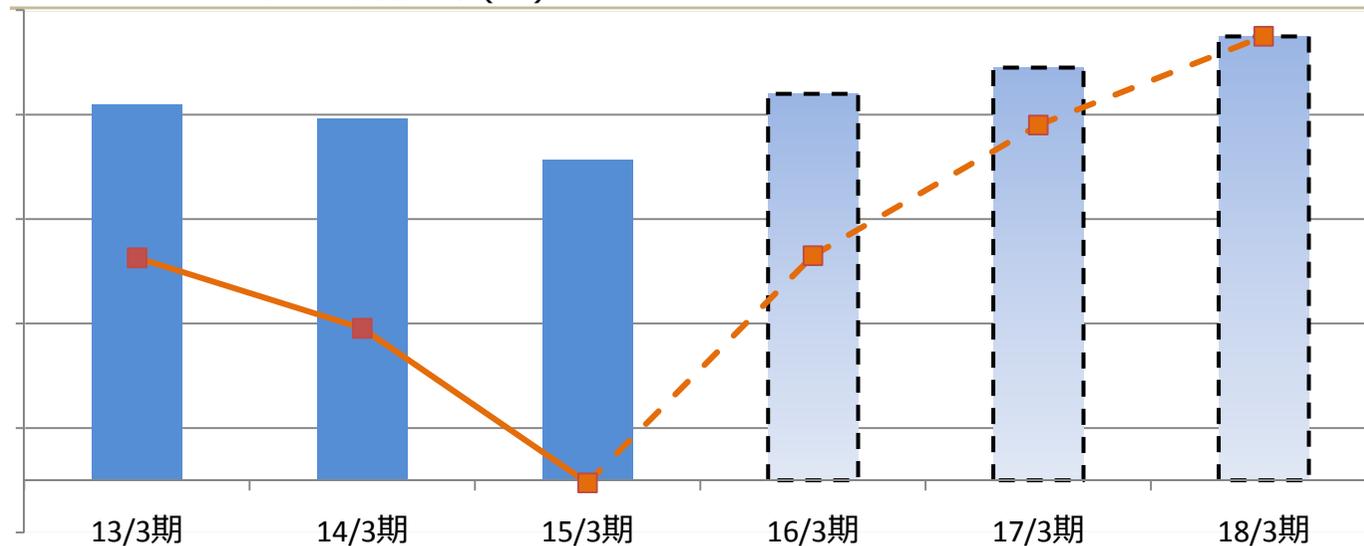
特定事業に依存しない事業ポートフォリオの構築により、いかなる環境変化にも対応でき、持続的に成長できる強い経営基盤を構築する

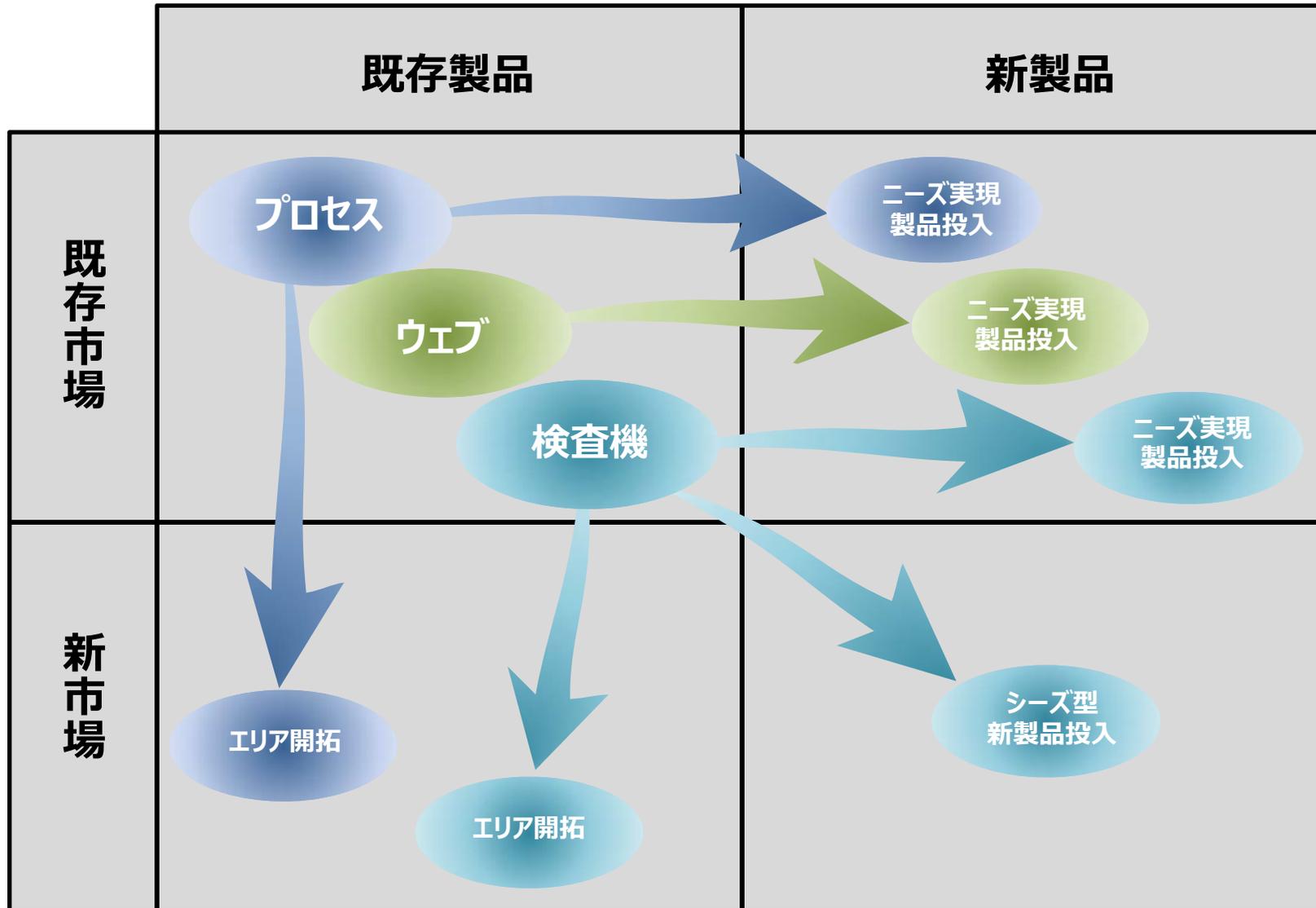
新中期3カ年計画



単位：百万円

		16/3期	17/3期	18/3期
全社	売上高	7,400	7,900	8,500
	営業利益	430	680	850
	営業利益率(%)	5.8	8.6	10.0
セグメント	プロセス事業	2,600	2,900	3,200
	セグメント利益	450	550	650
	セグメント利益率(%)	17.3	19.0	20.3
	ウェブ事業	3,000	3,000	3,100
	セグメント利益	270	280	300
	セグメント利益率(%)	9.0	9.3	9.7
	検査機事業	1,800	2,000	2,200
	セグメント利益	210	350	400
	セグメント利益率(%)	11.7	17.5	18.2





プロセス事業

- 国内は製品提案による潜在需要の掘り起し
- 海外は販売・サービス網の確立による顧客の開拓
- 成長分野(レベル計、厚み計、幅計など)へ経営資源を重点配分

ウェブ事業

- 顧客ニーズに合わせた製品ラインナップ展開によりシェアを奪取
- 地産地消体制の再構築により東南アジア・エリアの販売を拡大
- 市場の変化に即応できる開発体制の構築により開発スピードアップ

検査機事業

- 顧客ニーズに合わせた製品ラインナップ展開によりシェアを奪取
- 新製品による新たな市場の開拓
- 選果装置の海外展開

END

參考資料

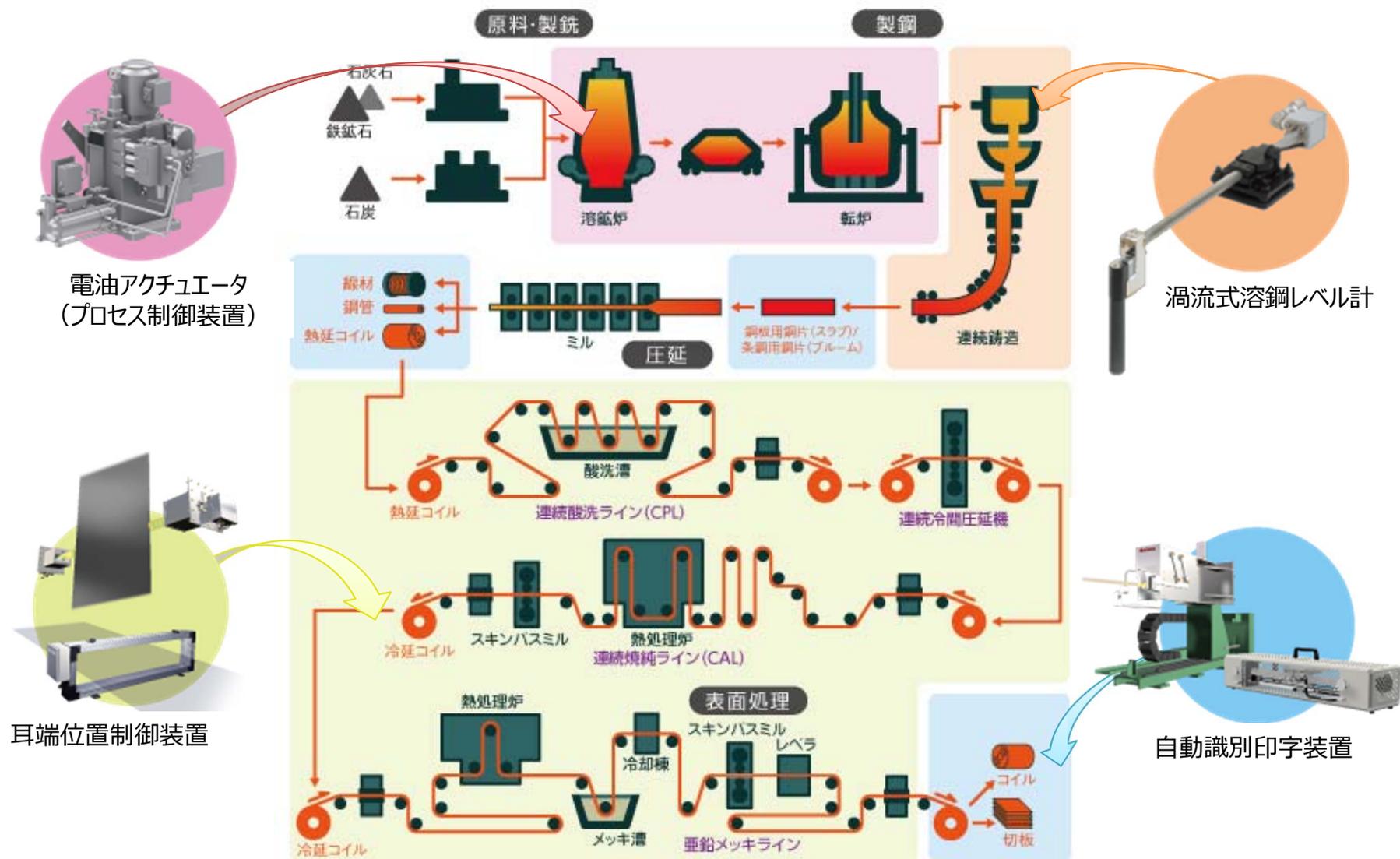
会社名	株式会社ニレコ
設立	1950年11月
資本金	3,072百万円 ※
事業内容	生産ライン等における制御及び計測装置の開発・製造・販売並びに保守サービス
従業員数	340 名 ※
本店所在地	東京都八王子市石川町2951-4
ホームページアドレス	http://www.nireco.jp

※2015年3月期連結ベース

プロセス事業

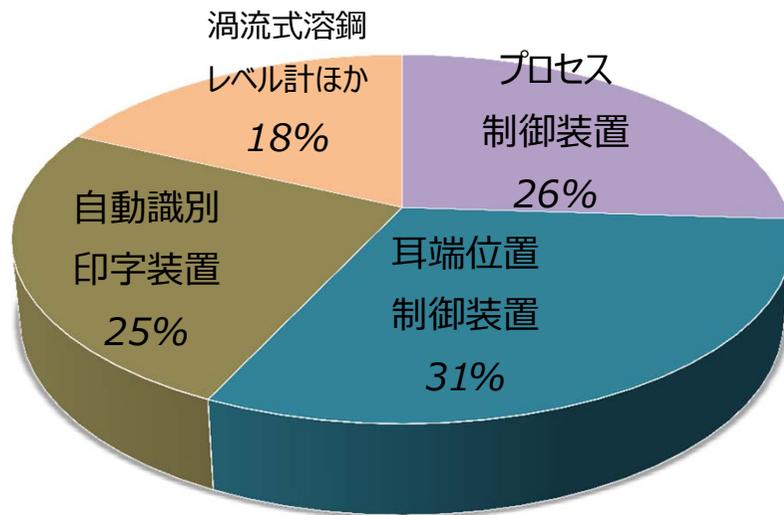


プロセス事業は 主に鉄鋼・非鉄金属製品の生産ラインで使われる制御・検査装置を取り扱っています。

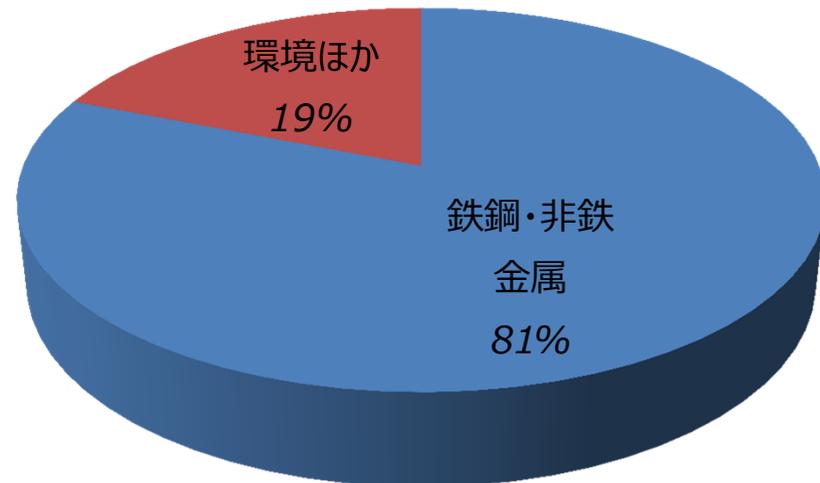


15/3期：2,266百万円

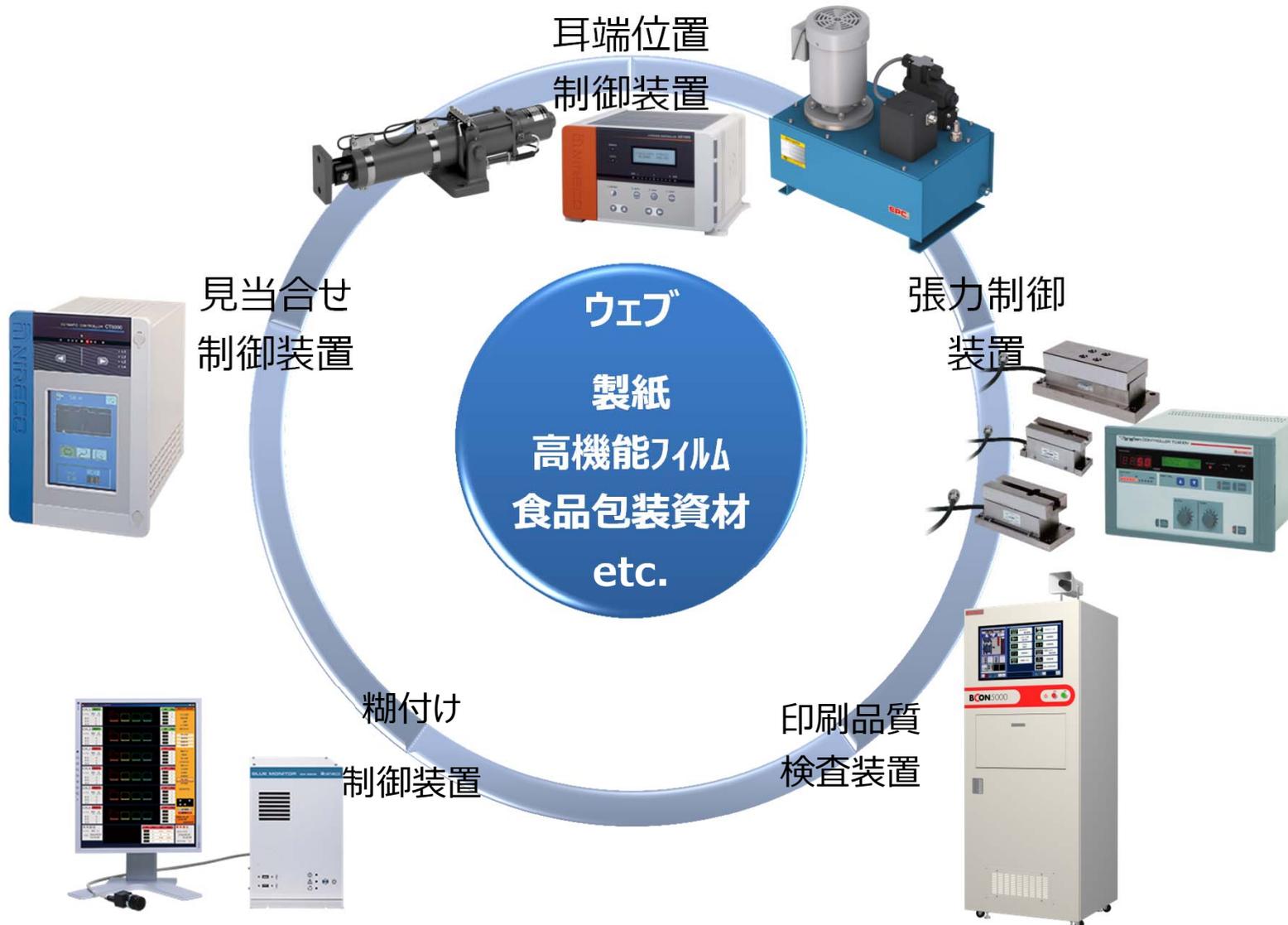
製品別構成比



業種別構成比

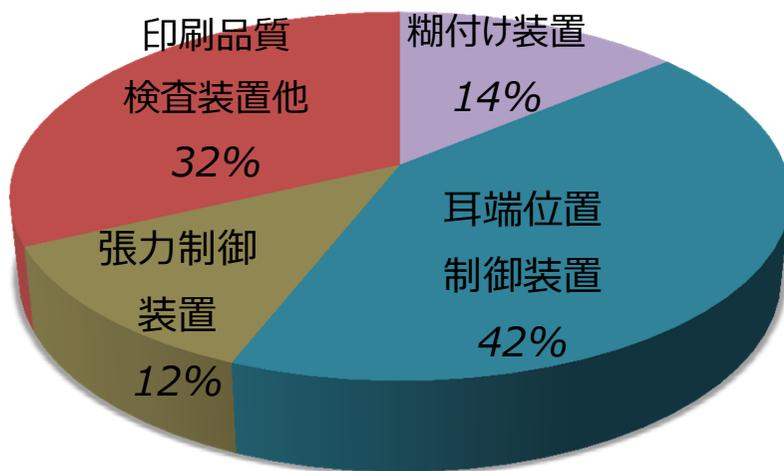


ウェブ事業は主に、製紙から印刷、電子部材に至るまで、幅広い産業分野で使われるウェブ（平らで薄い素材）を制御・検査する装置を取り扱っています。

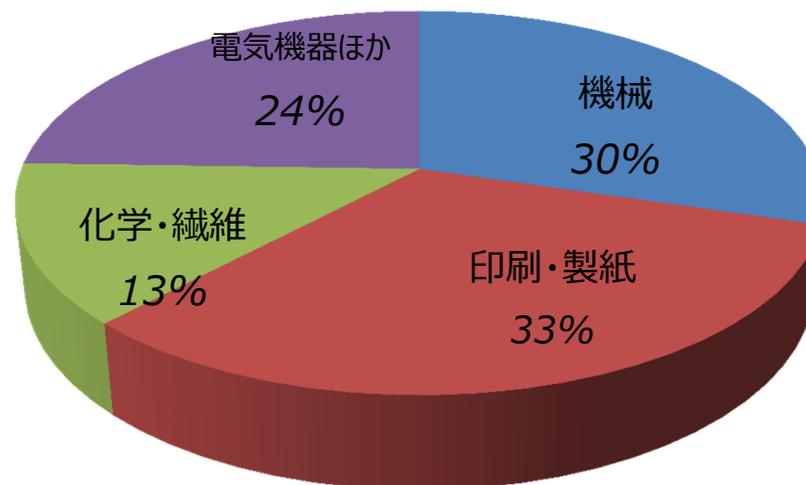


15/3期：2,656百万円

製品別構成比



業種別構成比



検査機事業は 農業から二次電池、電子部材に至るまで幅広い製品の品質検査装置を取り扱っております。40年以上にわたり培ってきた画像処理技術がベースとなっております。

無地検査装置



選果装置



製袋検査装置



魚選別装置



画像検査装置

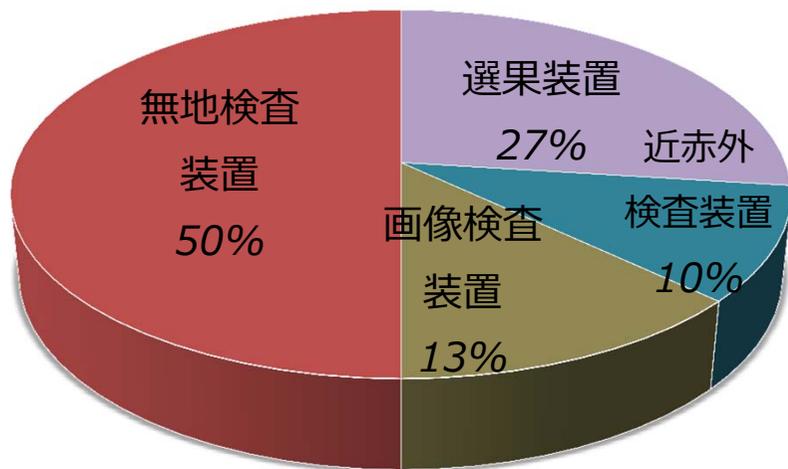


近赤外検査装置

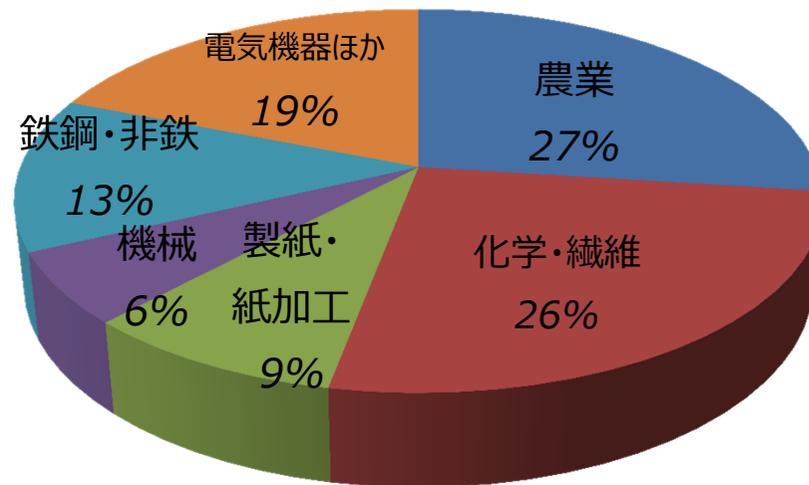


15/3期：1,183百万円

製品別構成比



業種別構成比



A light blue silhouette of a world map is centered in the background. Overlaid on the map is the text 'SENSING & CONTROL' in a large, bold, black, sans-serif font.

SENSING & CONTROL

IR関連のご質問・ご意見はこちらへ

電話:042-660-7301

<http://www.nireco.jp/contact/ir.html>